

令和5年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第4回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和5年8月25日から9月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 639人
- (3) 回答者数
- 537人
- (4) 有効回答率
- 84.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「『食』の安全・安心」について
 - ②「住宅用火災警報器」について
 - ③「博多港(キリン柄のコンテナクレーン)」について
 - ④「福岡市の下水道事業」について

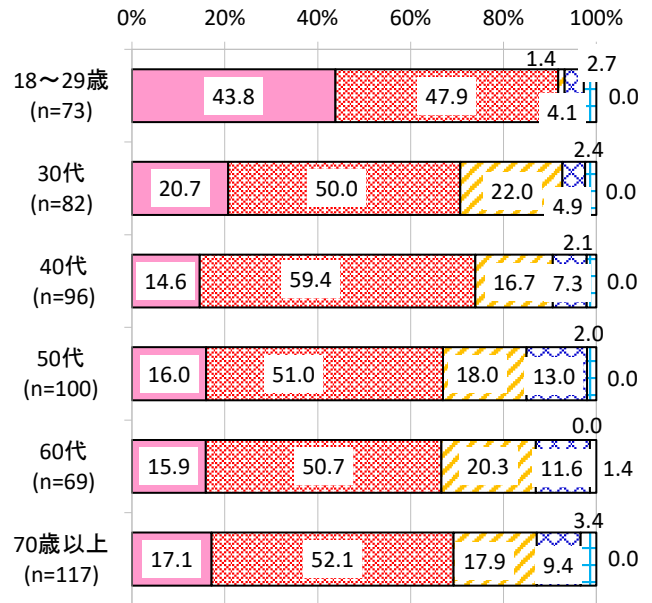
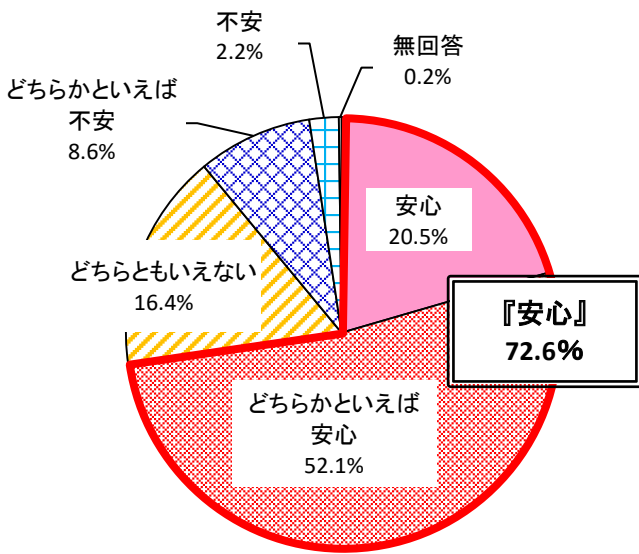
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

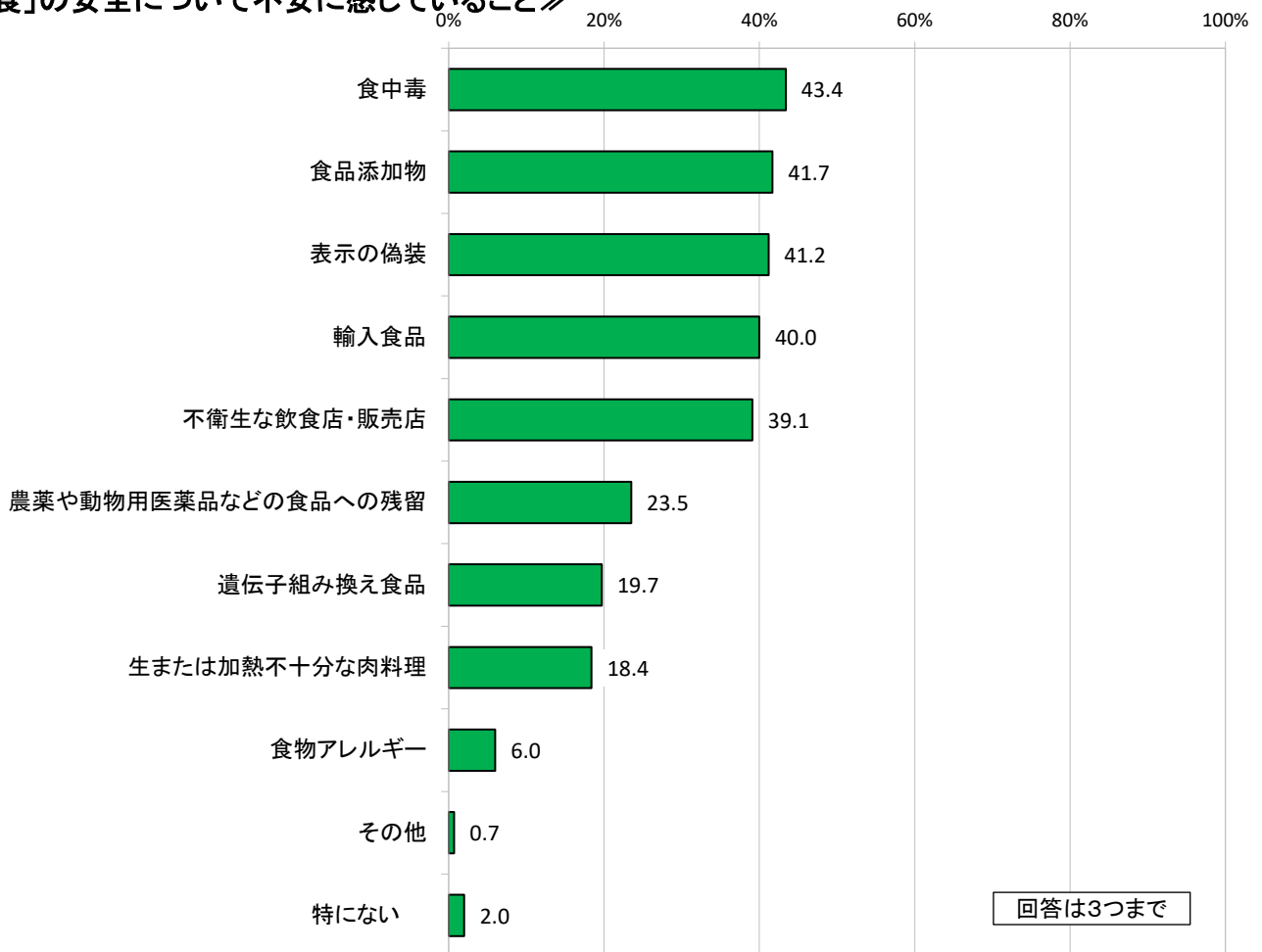
①『食』の安全・安心について(N=537)

《『食』の安全・安心についてどのように感じているか》

安心 どちらかといえば安心 どちらともいえない どちらかといえば不安 不安 無回答

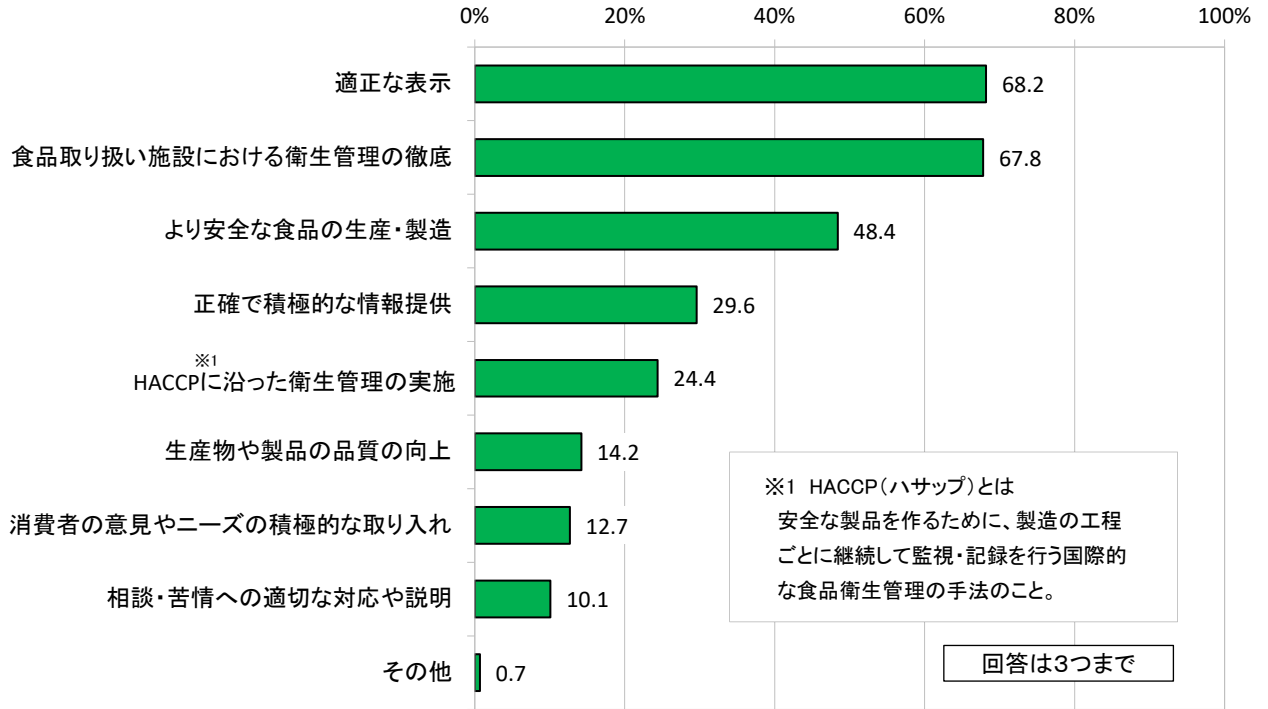


《『食』の安全について不安に感じていること》



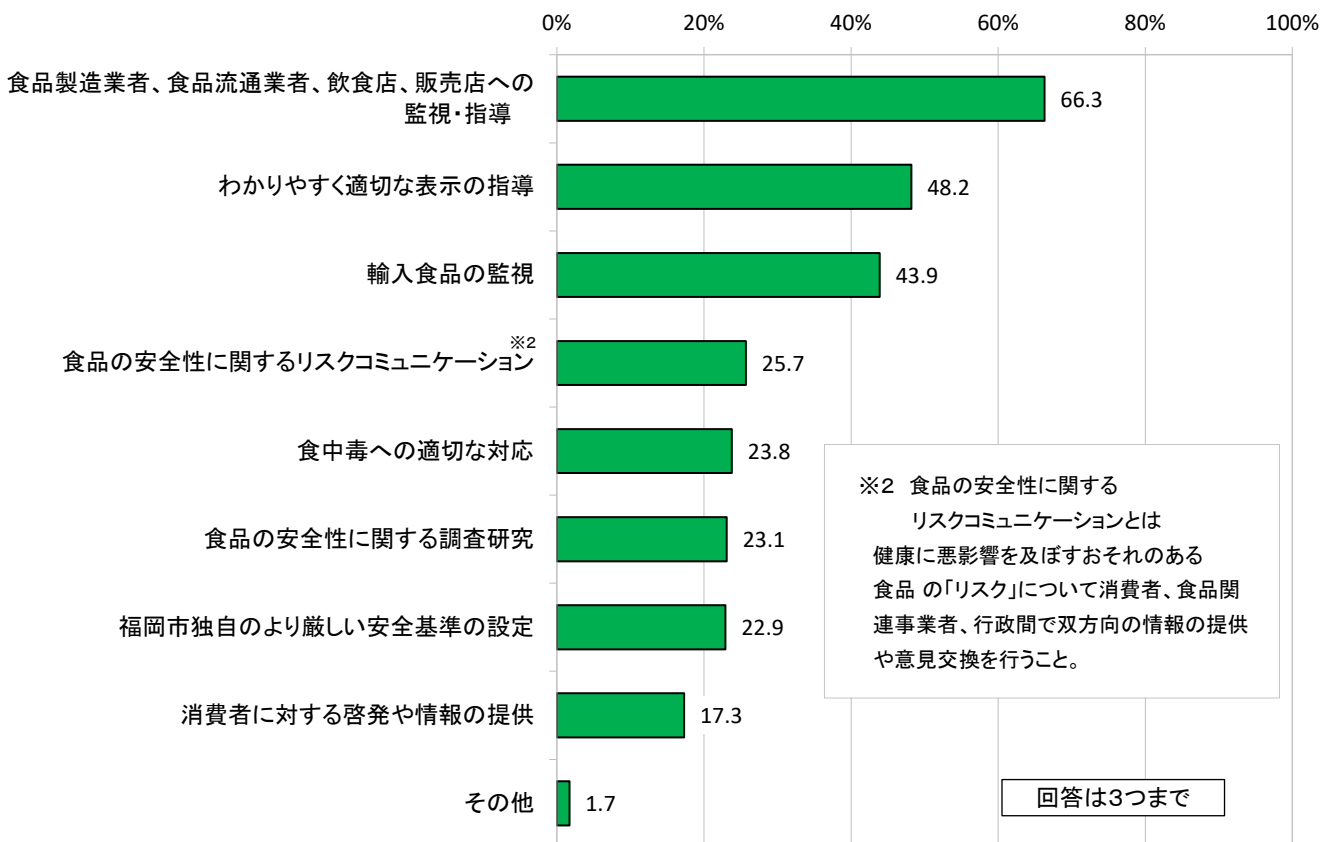
「食中毒」が43.4%と最も多く、次いで「食品添加物」が41.7%、「表示の偽装」が41.2%となりました。

《食品関連事業者(生産者、製造者、販売者、飲食店など)に強く希望すること》



「適正な表示」が68.2%と最も多く、次いで「食品取り扱い施設における衛生管理の徹底」が67.8%、「より安全な食品の生産・製造」が48.4%となりました。

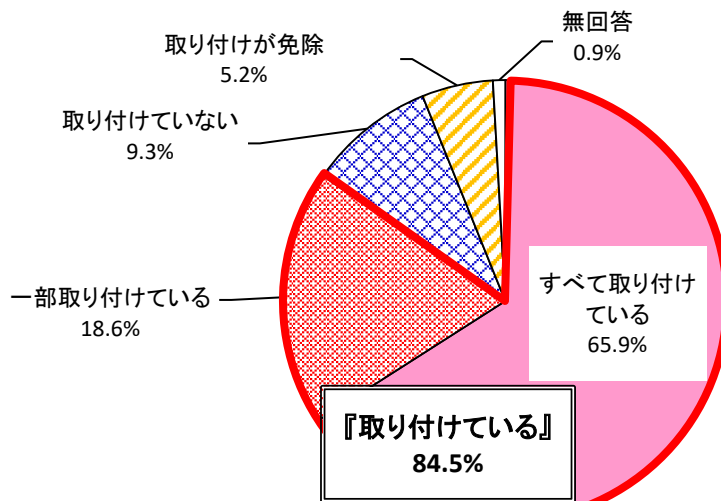
《「食」の安全確保のため、福岡市にさらに力を入れてほしいこと》



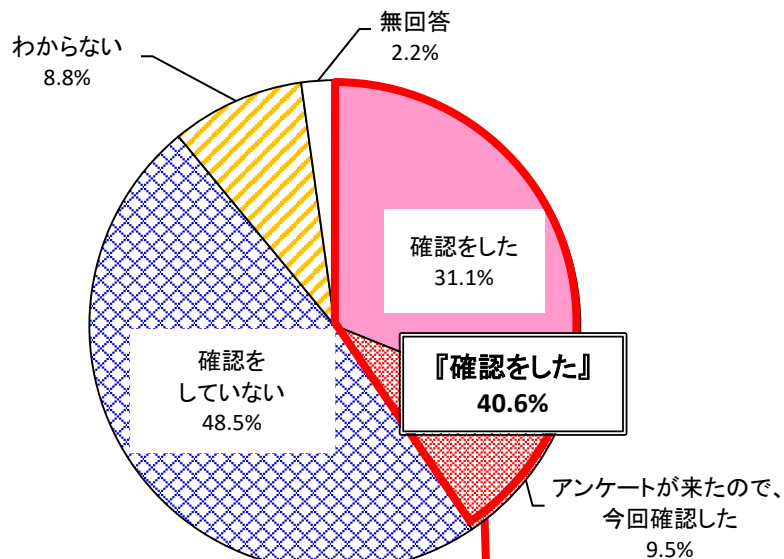
「食品製造業者、食品流通業者、飲食店、販売店への監視・指導」が66.3%と最も多く、次いで「わかりやすく適切な表示の指導」が48.2%、「輸入食品の監視」が43.9%となりました。

②「住宅用火災警報器」について(N=537)

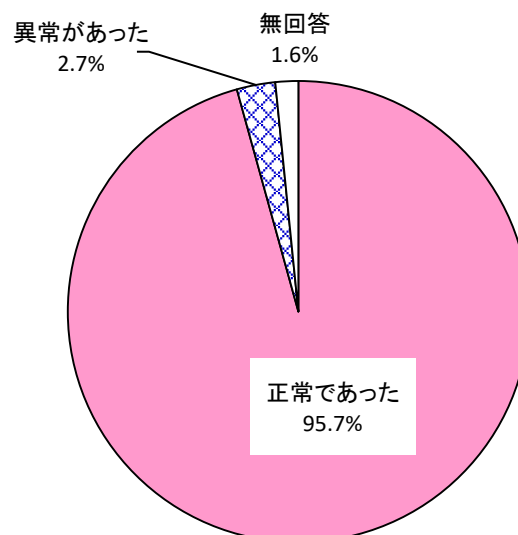
《住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けているか》



《半年以内に住宅用火災警報器の作動確認をしたか》 (n=454)

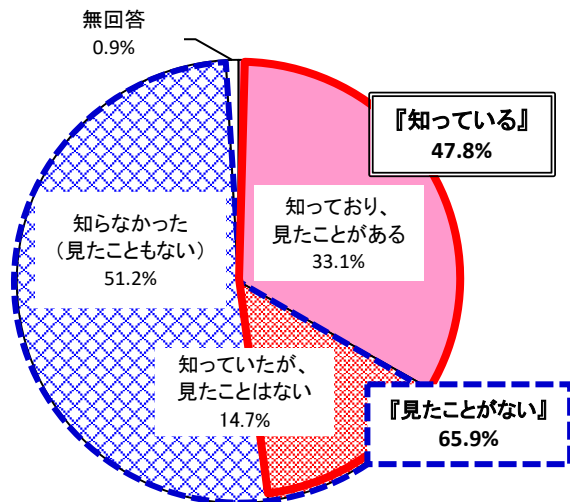


《作動確認の結果》
(n=184)

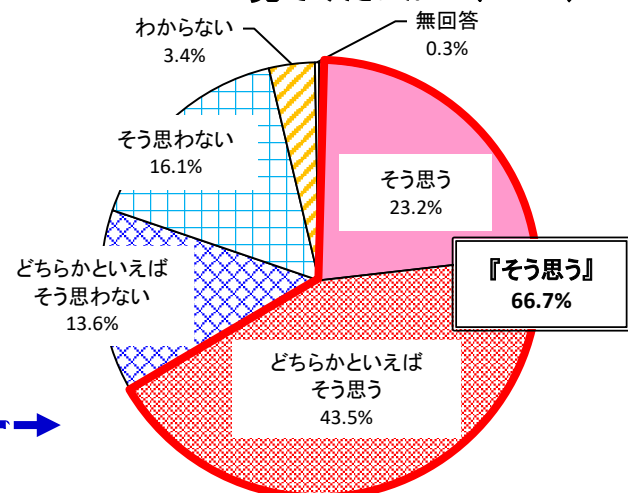


③「博多港(麒麟柄のコンテナクレーン)」について(N=537)

《麒麟柄のコンテナクレーンを知っていたか》



《今後、麒麟柄のコンテナクレーンを見てみたいか》(n=354)



《コンテナクレーンを麒麟柄に塗り替える取り組みについてどのように思うか》

そう思う

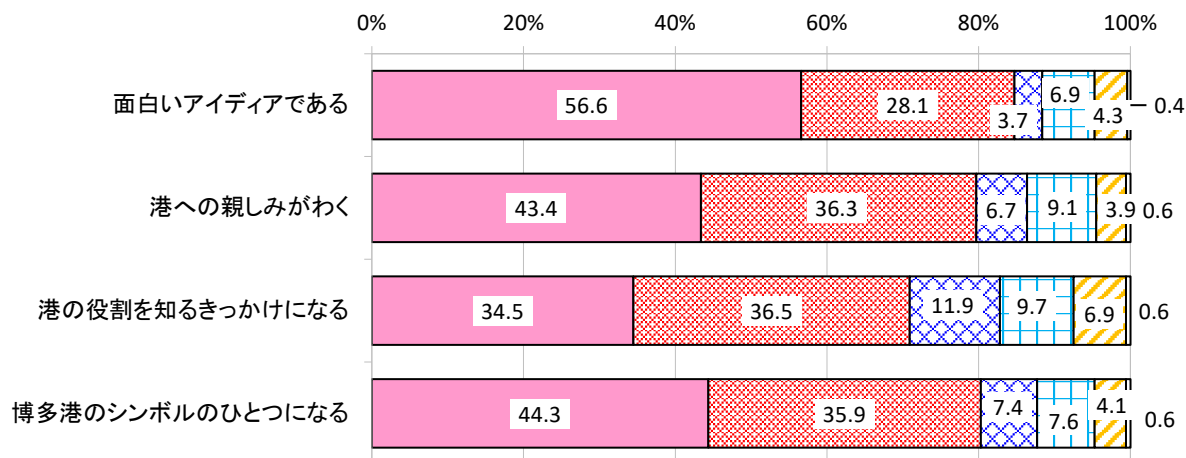
 どちらかといえばそう思う

 どちらかといえばそう思わない

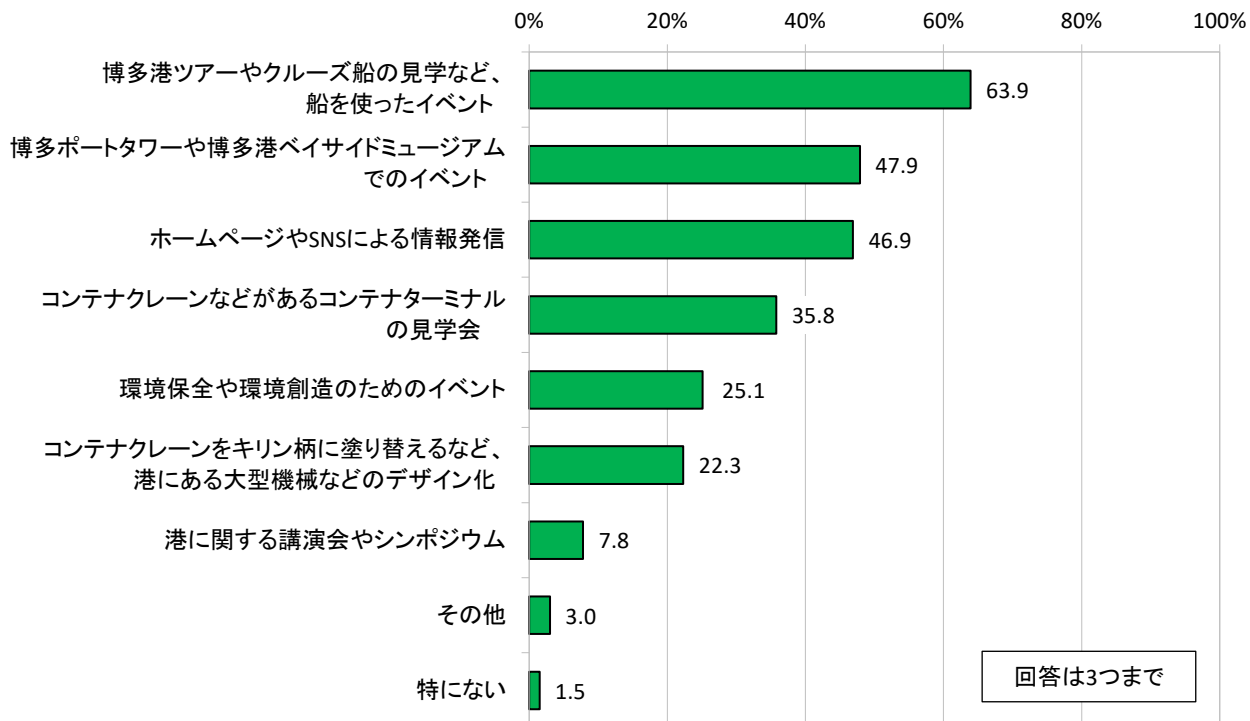
 そう思わない

 わからない

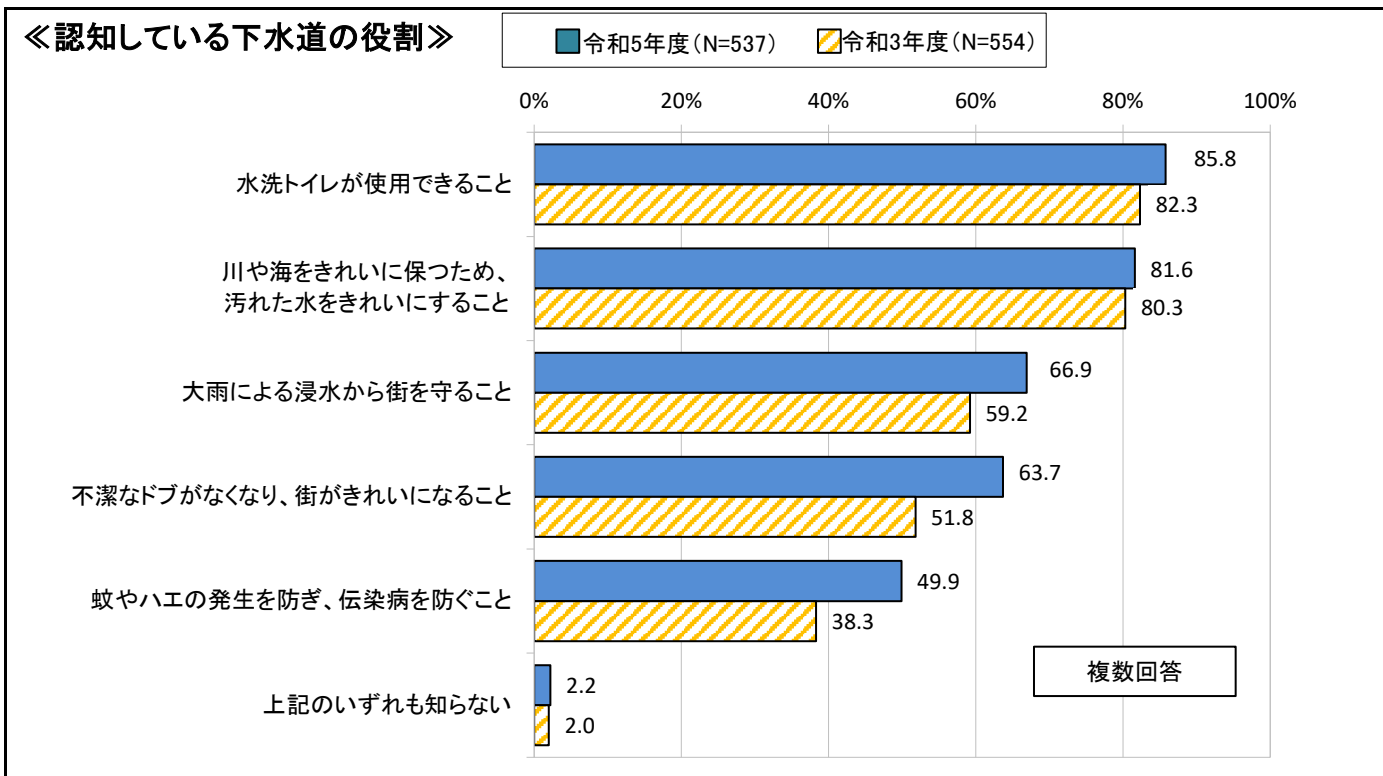
 無回答



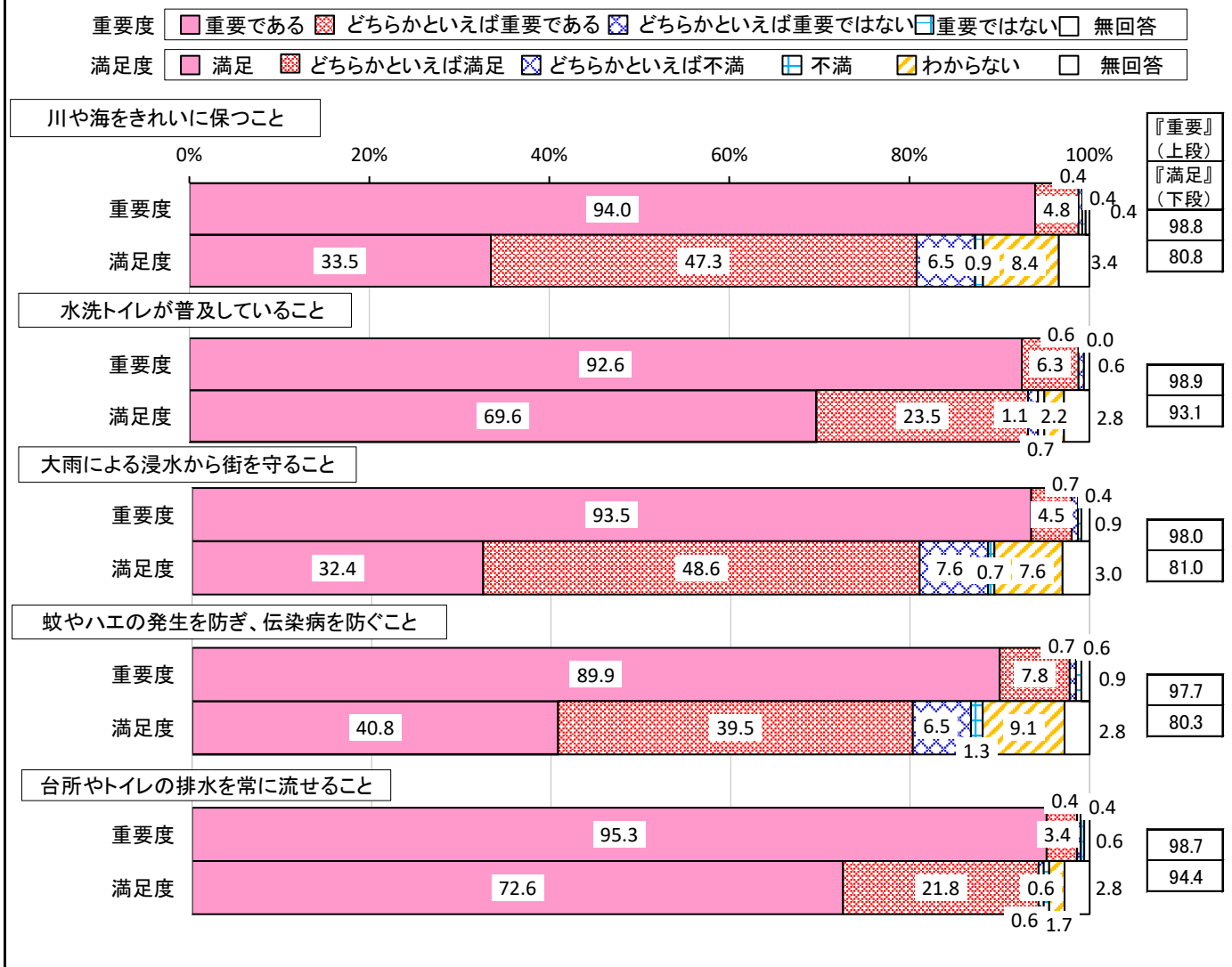
《博多港に興味や親しみをもつきっかけ》



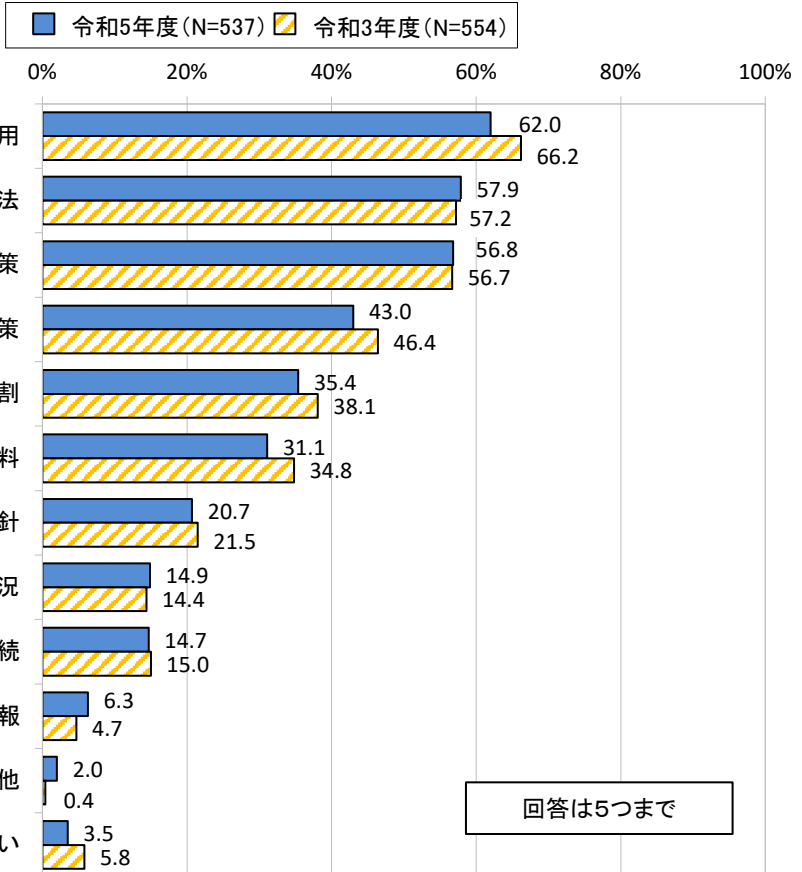
④「福岡市の下水道事業」について(N=537)



「福岡市の下水道による役割について」



《下水道について知りたい情報》



《興味を持つ下水道の広報(イベント含む)》

